

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	事業群②:教育庁義務教育課、事業群③:教育庁高校教育課
施策名	(4) 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	課(室)長名	事業群②:木村 国広、事業群③:鶴田 栄次
事業群名	② 豊かな道徳性を育む道徳教育の推進 ③ 社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>②道徳の教科化への円滑な対応を図るとともに、未来を担う子どもたちの豊かな心を育むため、いのちを大切にする心や思いやりの心を持つ、規範意識の高い児童生徒の育成を学校・家庭・地域が一体となって推進します。</p> <p>③各種機関と連携し、子どもたちが主体的に社会にかかわることで、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく力を培う教育を推進します。</p>	<p>(取組項目)</p> <p>i)道徳教育の推進(事業群②) ii)主権者としての自覚や社会参画の力を育む教育の充実(事業群③)</p>
--	--

事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	②「長崎っ子の心を見つめる教育週間」における道徳教育に関する教育活動の公開率	目標値①	/	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持(R2)	
	実績値②	100%(H26)	100%	100%	100%	/	/	進捗状況		
	②/①(達成率)	/	100%	100%	100%	/	/	順調		
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	③政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合	目標値①	/	45%	50%	55%	60%	60%	60%(R2)	
	実績値②	-	51.3%	50.4%	48.3	/	/	進捗状況		
	②/①(達成率)	/	114%	100%	87%	/	/	やや遅れ		

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 (平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容))	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			平成30年度事業の成果等	中核事業		
				H29実績	うち一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H29目標			H29実績	達成率
1	取組項目i	道徳教育の抜本的改善・充実事業	H27-	2,180	0	1,609	公立小・中学校の教職員等	道徳教育の充実を図るため、道徳教育パワーアップ協議会を実施し、市町立学校の管理職員や道徳教育推進教師等161名が参加した。道徳教育の充実を図るため、全小・中学校を対象とした道徳教育地区別研修会を県下7会場で実施した。	活動指標	道徳教育パワーアップ協議会の参加者数(人)	105	135	128%	●事業の成果 ・道徳教育パワーアップ協議会には、目標以上の参加者があり、特別の教科道徳の趣旨や内容、評価のあり方について広く周知できた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・道徳教育パワーアップ協議会を実施することにより、道徳教育の推進に寄与することができた。	○
				2,092	0	1,594					105	161	153%		
				3,427	0	1,595					160	/	/		
		義務教育課						成果指標	道徳教育パワーアップ協議会により得られた事業効果(点)	3.7	3.7	100%			
										3.7	3.6	97%			
										3.7	/	/			

2	取組項目 i	「心に響く人生の達人セミナー」事業	H16-	2,032	1,071	1,609	高校生	社会の第一線で活躍している本県出身者、又は本県にゆかりのある人材等を高等学校へ外部講師として派遣して講演を行い、21世紀をたくましく生き抜く力を身に付けさせるとともに、人生観、倫理観、職業観を醸成した。	活動指標	全県立高校64校(全日54、定時10)実施(%)	100	100	100%	●事業の成果 ・学校では接することの少ない実体験に基づいた失敗談・成功談などを生徒が聞くことにより、生徒自身が人生観や職業観を形成する契機となった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・多様な経験に基づく深い考えに触れることで、生徒自身の人生観、職業観のみならず倫理観の醸成につながっている。
				1,894	947	1,594			100	100	100%			
				2,286	1,143	1,595			95	94.6	99%			
		高校教育課						成果指標	講演実施校における生徒自身が人生観や職業観を深めることができた生徒の割合(%)	95	94.0	98%		
3	取組項目 ii	教科等教育指導費(再掲)	(H30終了) H29-30	623	0	2,414	高校生	年間指導計画に基づいた政治的教養教育を地道に積み上げるとともに、「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究(H29.11月～、文科省委託事業)」にて、研究指定校である五島高校において2年目の研究に取り組んだ。五島高校では前年度から継続して、主体的に社会に関わろうとする生徒を育成するためのパラモンプランと呼ぶ社会探究型の課題学習の開発に取り組んだ。また、この研究成果を県内に波及させるため、県単独事業を立ち上げたり、研究発表会を開催したりした。	活動指標	研究発表会を行った回数(回)	数値目標なし	1		●事業の成果 ・五島高校の探究学習に取り組んだ生徒の中から、校外で自主的に活動する者も出てきた。中には、各種コンテストで抜群の成績を収めた者もいる。今年度最大の成果は、このような取組が研究発表会等を通じて県下の県立高校に広がりを見せはじめたことである。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・即効性には欠けるものの、主体的に社会に関わろうとする生徒が着実に育っている。
				889	0	3,189			3	7	233%			
		高校教育課						成果指標	与えられた問いではなく、社会における課題から自ら問いを発見する問題発見力が身に付いている生徒の割合(%)	数値目標なし	78			
										85	92	108%		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i) 道徳教育の推進(事業群②)</p> <p>道徳研究指定校の指定や規範意識育成会議の開催により、調査研究を実施し、その成果の普及を図ることができた。また、マナー向上を目指して取り組んでいる「長崎っ子さわやか運動」の支援を行うことで、中高12年間を見通した心豊かな長崎っ子の育成を推進することができた。</p> <p>「心に響く人生の達人セミナー」事業については、さまざまな経験を持つ、講師の実体験に基づく講話等を聴くことにより、生き方やいのちの大切さ、職業観の醸成が図られている。社会人として自立していく準備段階の時期に、実社会で生き抜く様々な職種の「人生の先輩方」の講話を聴くことにより、個人の倫理観や道徳性を高めることができおり内容は充足しているが、講師の講演内容と生徒自身が望む講演内容のミスマッチのために生徒自身が「人生観や職業観を深めることができた」と答えた割合が、目標とする95%にわずかだが到達していない。また、既存の講師リスト登録者の高齢化が進み、辞退者が出てきているので、今後も講師の新規開拓を進めたい。</p>
<p>ii) 主権者としての自覚や社会参画の力を育む教育の充実(事業群③)</p> <p>社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進状況に関する指標である「政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合」は、平成30年度においては、平成29年度の50.4%(目標50.0%)を下回り、48.3%(目標55.0%)であった。これまで同様、年間指導計画に基づく政治的教養教育を地道に積み上げ、県選管と連携した実際の選挙に向けた啓発活動を継続するとともに、研究指定校であった五島高校の取組や成果を県教委主催の指定校発表会を通じて周知したり、「ふるさとの未来を担う高校生育成事業」や「次代を担う高校生の資質・能力育成プロジェクト」の研究指定校等と連携したりすることで、地域課題の解決に取り組むことによる政治的教養を醸成し、「政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合」を増加させる。</p>

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2	取組項目i	「心に響く人生の達人セミナー」事業	令和元年度においては、昨年度各学校で独自に依頼した講師のうち4名と、講師の自薦による1名の計5名を新たに名簿に登録する。	②	各学校で独自に依頼した講師については、引き続きどの学校からも依頼できるように名簿への登録を依頼するとともに、名簿登録者の拡充を図り、学校及びその生徒の実態により即した講師選定のための選択肢を広げる。また、本事業の講師は「本県にゆかりのある人材」を選定しており、地方創生のための「ふるさと教育」にもつながる事業であることから、引き続き実施していく。	改善

注:「2.平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができて
いるか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づ
けるための
工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役
割分
担
の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要はない
か。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点